



たてやま

議会だより



平成 24 年
3月定例会

もみじグループによる人形劇「耳じぞう様」

「もみじグループ」は、人形劇や紙芝居などを披露するボランティアグループです。シナリオは、民話をもとにしています。

平成24年度 一般会計予算	2P
委員会の審議	3P
一般質問	4P
議会の新役員	12P
請願・陳情	12P

No. 43

2012.5.1

発行／立山町議会
責任者／議長坂井立朗
編集／広報特別委員会

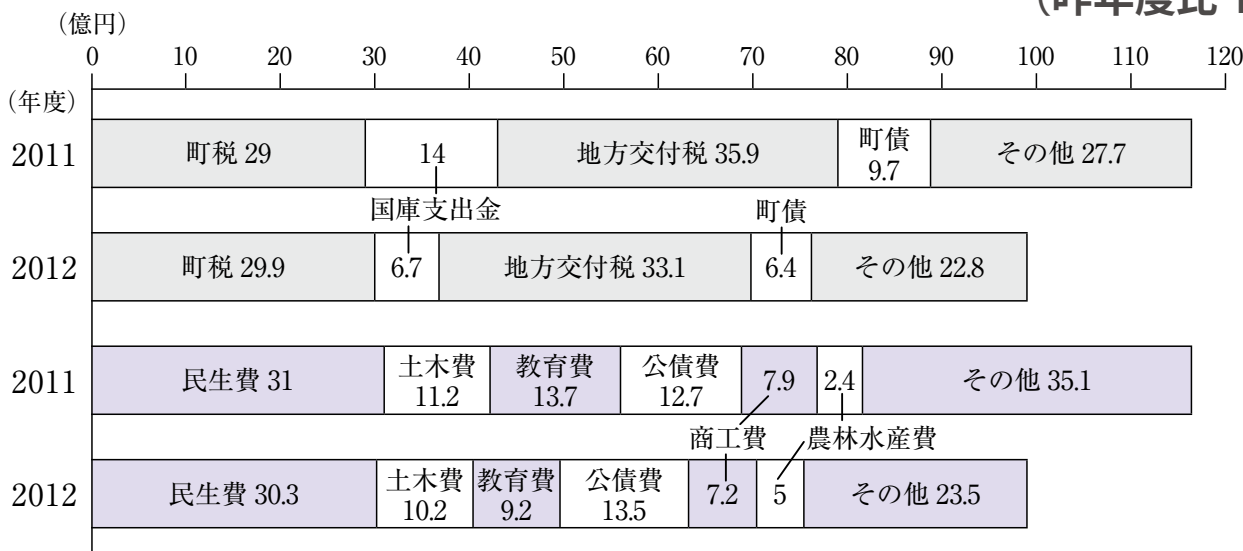
いよいよ始動！立山町元気交流ステーション

—健康づくりの拠点として期待集まる—

平成24年度

一般会計予算 98億8,500万円

(昨年度比 15%減)



歳入

歳出

立山町元気交流ステーション 管理委託費 3,340万円

今年6月から、管理委託のために設立された「株式会社たてやま」が、指定管理者として管理することになった。

ステーション本体工事の契約変更 7,245万円

議会最終日に提案されたものである。準備期間が短かったこともあり、やむを得ない項目16点、施設機能・安全性、維持管理性向上のための項目24点、将来対応のための項目4点、その他の項目5点など、合計49項目の変更があった。

立山北部小学校改築事業 3億2,930万円

23年度の補正予算ではあるが、今議会で議決されたものである。来年末までの期間が予定されており、一刻も早い耐震化が望まれる。

その他の主な事業

- 立山中央小学校グラウンド人工芝設置工事費 5,220万円
- 地籍調査委託事業 1,863万円
- 町道女川新・浦田線橋梁上部工事費 5,911万円
- 学力向上推進事業（小学校高学年土曜教室） 274万円
など

平成24年度3月定例会は、3月5日から21日までの17日間にわたって開かれた。
平成24年度一般会計など予算関係6件、条例制定・改訂など16件、指定管理者の指定で10件など、合計42件の議案が可決された。また、請願陳情1件は採択され、議員提出議案4件は可決となった。
一般質問では、8名の議員が町政全般について質問を行った。

産業厚生常任委員会

五百石保育所は改築予定
規模は130人〜150人

税務課

Q 歳入の個人及び法人住民税を増額した根拠は。

A 個人住民税は主に子ども手当て支給による。扶養控除の見直しにもなっており、年少扶養親族の所得控除がなくなったことによるものである。法人税については、一部企業の業績の持ち直し等により、23年度の実績をもとに増額とした。

総務課

Q 自主防災組織補助金の内容は。

A 県の補助金は平成24年度までなので、未組織の自治会に積極的にPRするとともに、申請が予算を上廻れば今後、補正予算で対応したい。

消防署

Q 消防救急無線のデジタル化について、単独で設置を考えているか。

A 基本設計は、富山県下で協議会を設置して、全体の基本設計をすることで経費の軽減を考えている。その他の部分は、単独で整備する。

企画政策課

Q 立山町元気交流ステーションの駐車場の名称は、野菜ではなく立山をイメージするものにしてはどうか。

また、料金は無料にならないのか。
A 駐車場の名称は、子どもから高齢者にまで親しまれるようにと考えている。
駐車料金は、4時間まで無料で、その後4時間毎に100円。近隣の状況等を調査して設定した。

健康福祉課

Q 五百石保育所の改築予定地と規模は。

A 場所は未定であるが、あおぞら保育所と同規模の130人から150人を予定している。

Q 介護予防、認知症予防における、元気交流ステーションの位置づけと新年度の事業展開はどうか。

A 元気交流ステーションは、高齢者自身が「運動がしたい」などの意欲が出る介護予防の拠点施設として位置付ける。新事業は町職員が各地域に出向いて行うものなどで充実させる。

商工観光課

Q グリーンパーク吉峰の運営管理費が挙げられているが、どの範囲で、指定管理者はどこか。

A グリーンパークの建物、バーベキューハウス、セットハウスなどである。指定管理者は株式会社たてやまに予定している。

農林課

Q 山村境界基本調査を東谷地区で実施することになった経緯と、今後の計画はどうか。

A 町有林が多いこと、上市町側にも立山の所有者が多いことなど、境界が特定しやすいからである。年間300haずつ進めても

20年以上はかかる。

建設課

Q 地籍調査の進捗状況はどうか。

A 23年度は、役場周辺の一年目の調査を行った。24年度は、二年目の調査と並行して、雄山高校南周辺の一年目の調査を行う予定である。

住民環境課

Q 富山地域衛生組合への負担金が減った理由と今後の見通しはどうか。

A 昨年に比べて1、500万円余減ったのは、人件費と入札額が下がったこと。負担金は今後も発生する。

総務教育常任委員会

元気交流ステーション駐車場
料金は4時間まで無料

村田 昭議員 一般質問



予算

予算編成の基本姿勢を問う

第九次立山町総合計画に基づいて進める

議員 平成24年度予算編成にあたっての基本姿勢は、何を柱に据え、町民に訴えるか。

持活性化」「学校教育環境と基礎学力の向上」「地籍調査」を施策の柱に提案した。「行政が『今』問われていること」を心に留め予算編成をした。私は「不安」を「安心」

町長 私の4つの方針である「役場のスリム化」「地鉄立山線の維

に変える根拠を積み重ねることと、いざとなつたとき役場が助けてくれると信じてもらえる体制を整えることだと思ふ。



▲五百石駅西かぼちやから見流た、建設中の元気交流ステーション

子育て支援

子ども医療費助成は

入院費助成を中学3年生まで

議員 子供医療費助成は人気取り合戦でなく、総合的な子育て支援策が必要だ。ただ拡充の流れが定着化しており、町の今後の対応は。

町長 全国一律、少なくとも県内で一定の方向性であるべき。ただ県内市町村の半数以上が入院費について、本年10月を目途に中学校

3年生まで医療費の助成をすることになる。町も担当課に指示しており、財政・運用面に問題がなければ10月から、中学校3年生までに入院費の助成を実施する。

学校教育

学校適正配置の検討は

小学校は将来3〜4校

議員 学校適正配置について、教育委員会における一年間の検討状況を問う。

がって学校数は、3校ないし4校ということになる。今後、学校適正配置に向け検討事項を整理して、その上で審議会を設け、諮問をお願いする。何よりも教育的効果を十分あげ、子供たちを健やかに成長させることが重要課題ととらえる。

教育長 学校規模は、児童が切磋琢磨して互いに人間性・社会性を育み合うには、1学年に2〜3学級という構成が望ましい。した

行財政改革の推進は県内小学校等の弥陀ヶ原周辺トレッキングの実施はまちづくり新会社の経営方針・組織体制など目指す姿は地域公共交通の活性化対策は平行在来線の新会社への市町村負担は地鉄立山線の存続、活性化は町長と町民との意見交換会を

その他の質問

- ・行財政改革の推進は
- ・県内小学校等の弥陀ヶ原周辺トレッキングの実施は
- ・まちづくり新会社の経営方針・組織体制など目指す姿は
- ・地域公共交通の活性化対策は
- ・平行在来線の新会社への市町村負担は
- ・地鉄立山線の存続、活性化は
- ・町長と町民との意見交換会を



桑原米蔵議員 一般質問

環境

震災ガレキ処理問題 正確な情報の提供を

搬入ゴミの放射線量を把握 同等であれば拒まない

議員 クリーンセンターが立地する地域の住民の一人として、東北地方の有害な廃棄物を受け入れる

ことは致底容認できない。一方で、ガレキ処理に困っている地域を何とか助けてあげたい。町民に正確な情報の周知と説明が必要であると思うがどうか。

町長 震災ゴミ



東日本大震災の被災状況

について、ベクレルやシーベルトの単位、ミリやマイクロなどの単位の違い、日量・年間量の表現の違いなどから多くの誤解がある。今後、検討する基準を作るため、現在搬入されているゴミの放射線量を把握し、震災ゴミが同等であると確認されれば、被災地の一日も早い復興のために、ゴミの受け入れを拒む理由はない。富山県と富山地域広域圏事務組合の責任で調査・確認し、町民に対して情報提供と説明会などを行う。

安心・安全

立山中央小学校校舎改築工事、 井戸水汚染対応は

水質調査を継続、争う方向で対応

観光と企業誘致は

新たな観光資源の活用 企業立地パンフレット作成

議員 立山中央小学校の校舎改築工事により、井戸水の汚染があると提訴された。これまでの経緯や、今後の対応は。

教育課長 校舎改築工事の基礎工事が原因で井戸水に一般細菌、大腸菌及び六価クロムが混入したとして、昨年12月12日、周辺住民3名が、町を相手に、富山地方裁判所へ約2、200万円の損害賠償を求めて提訴された。

- その他の質問**
- ・地籍調査の進捗状況と今後は
 - ・里山・地域振興の事業展開
 - ・立山アルペンヒルックライムの継続は

本年1月25日、第1回目の口頭弁論があった。町としては住民説明会や、周辺の井戸水の水質調査を続ける。また、3名の弁護士と委任契約を締結し、争う方向で対応している。

議員 観光客の誘致や、企業誘致に向けて内外問わず走り廻ったことによる意義と効果は。

町長 観光客誘致については、今年4月16日からの台湾直行便が決定し、ラムサール条約、

日本初の氷河など有望視されている。全国にPRできる。

新たに観光庁が取り組んでいる訪日外国人旅行者の受け入れ環境整備事業にも、広域観光としてエントリールしており、新たな戦略拠

点・地方拠点を目指している。

企業誘致には、企業立地パンフレットを作成するとともに、企業進出情報の収集に努め、情報が入り次第、即、企業訪問をするこ

トップセールス

石川孝一議員 一般質問



震災がれき

原発による放射能が
検出されないものを

町長が現地で確認

議員 立山町を放射能

汚染地帯にしてはいけ
ない。がれき処理には
協力したいが、信頼で
きる正直で正確な情報
が必要である。クリー
ンセンターは放射性廃
棄物を焼却処理するこ
とは想定されていない
。

受け入れる場合は、
原発による放射能が検
出されないものに限定
する。また、津波によ
る塩分やアスベストな
どの分別も必要ではな
い。

いか。

町長 現在処理してい
る可燃ゴミの放射線レ
ベル以下のもので、分
別されたものであれば
受け入れを拒む理由は
ないと考えている。

問題は、いかに安全
を確認するかである。
国や現地任せでなく、
県とともに私が現地で
確認したもののみ引き
受ける方向で、富山地
区広域圏事務組合で検
討する。



放射性廃棄物を焼却処理する
ことが想定されていないクリー
ンセンター

自転車置場

雄山中学校に増設を

現段階では考えていない 学校周辺のスペースを利用



増設が望まれる雄山中学校駐輪場

議員 多感で行動力の

ある中学生に対し、町
の財政や、学校の都合
・規則で自転車通学を
制限するのはどうか。
良い教育環境は町長の
重点政策でもある。

雄山中学校は県内
でも屈指の大規模校であ
る。遠距離通学者も多
く自転車置き場が不足
しており、増設の要望
は以前からある。必要
な施設には予算付けを
し、ぜひ自転車置き場
の増設をすべきではな
いか。

教育課長 雄山中学校

その他の質問

には約400台分の
駐輪場がある。現在
470名が自転車通学
の登録をしている。約
70台が学校周辺のス
ペースにとめている。
当面この場所を利用し
て頂きたい。学校では
従来から2km以内の生
徒の自転車通学を規制
している。現段階では
増設は考えていない。

- 志賀原発に対し、北
陸電力との安全協定
締結の意志は
- 南砺市の可燃ゴミ受
け入れは、周辺住民
への配慮を
- クリーンセンターの
管理・点検は。また
残灰処理と灰溶融炉
の費用対効果は
- 立山町の原発災害対
策と、立山の自然保
護・食の安全のため
放射線量計の常備を
元気交流ステーション
の工期再延長と、
その影響は
- 北部小改築と、小学
校教育の将来像は



佐藤康弘議員 一般質問

環境

東北地方の震災ガレキ処理は

科学的な安全性を 県が責任をもって保障

議員 科学的に安全性をきちんと証明し、そのうえで日本全国が対応の協力をするのでしか進まない。町長は知事に、全国知事会等の協議の中で発言することを要請する必要があるのではないか。

町長 県へのアンケートの回答として、「国に対しては要望はない。県知事の責任において県民の安全を保証するから協力して欲しい」ということを、市町村長や一部事務組



うず高く積み重なっているガレキ

合に対して要請して欲しい」とした。今後、富山県としての態度を明確にするよう求める。

福祉

高齢者保健福祉計画の 特徴、重点項目は

安心して暮らせる社会づくり

議員 立山町における高齢者人口の割合は全国平均を大きく上回っている。高齢者保健福祉計画の着実な実行が必要ではないか。

組織

地域振興に取り組む 新セクションを

「定住まちづくり係」を設ける

議員 元気交流ステーションと連携し、地域振興に取り組む新セク

ションを立ち上げるべきではないか。

町長 主に元気交流ステーションとの連携や定住促進などを担う係として、新年度、企画政策課に「定住まちづくり係」を設ける。



裁縫や手工芸などを教えるボランティアグループゆりかご会

健康福祉課長 計画では、「元気で活動できる健康と生きがいづくり」「住み慣れた地域で生活できる環境づくり」「安心して暮らせる支え合いの地域づくり」の目標を掲げている。また、心身機能の低下により要支援・要介護となる可能性が高いと認められる、いわゆる二次予防事業対象者を可能な限り早期に把握することで、介護の予防を図ることが大変重要である。

その他の質問
・きめの細かい雪対策を
・NET3の運営のあり方は
・立山町総合防災訓練の計画は
・自主防災組織の現状と取組みは
・消防団員の身分の補償制度は

後藤智文議員 一般質問



町づくり

あったか町政を目指して町民のSOSをキャッチできる体制を

いつでも相談できる体制作り
事業者からの情報提供は難しい

議員 昨年12月の委員会で、町営住宅入居者の中から自殺者という悲しい事実が報告された。何故、周りの人や行政が、生活の様子などから異常に気づかなかつたのか、地方自治体の役割を深く考えさせられた。

二度と悲劇を起こさないために、困っている人がいないかアンテナを張り巡らし、SOSをキャッチできる体制を作るべきだ。町民にあったか町政を目指すべきではないか。

町長 日本の相対的貧困率は2009年に16%と、過去最悪に

なった。失業や病気など、思わぬ理由で生活危機に見舞われた時、何らかの手助けがあれば立ち直るきっかけは生まれる。

しかし現実には、家庭や地域のつながりの希薄化が進行している。町としては、民生委員や社会福祉協議会、自治体などと協力し、孤立した人や問題をもつ人がいつでも相談できる体制作りに取り組んでいる。

ただ、電気などの公共料金事業者からの情報提供は個人情報保護があつて難しい。

少子化対策は待たなし 中学3年生までの医療費無料化を

入院費は中学3年生までに拡大 自治体間サービス合戦はだめ

議員 富山市は今年の10月から、子ども医療費助成を拡大する予定だ。これで立山町は、近隣自治体の中で一番遅れた子育てにくい町になり、少子化に拍車をかけないか。子どもの医療費助成を中学3年生まで拡大すべきではないか。

少子化対策

町長 医療費助成は全国一律か、県内で統一されるべきと考える。中学3年生までの入院費助成は検討中で、問題なければ今年10月から実施したい。通院助成は、県内自治体は半数以下であること、自治体間サービス合戦はしたくないので拡充は考えていない。



▲中学生にも医療費の助成が望まれる

その他の質問

- 住民の要望に沿った「住民福祉の向上」をめざした施策の展開を
- 元気交流ステーションについて
- ①子育て支援の充実
- ②お年寄りへの支援
- ③駐車場を無料に
- ④現図書館の今後
- 南砺市のゴミ問題で地元無視の対処はがれき問題処理に関して、安全性の確保と地元への理解を子どもたちに負担を強いる小学校土曜教室と学力調査は避難施設になる北部小学校体育館にスロープを
- 学校遊具の充実を
- 定住促進の為、除雪と屋根雪おろし支援を
- 消費税増税に対して町長の考えは



亀山 彰議員 一般質問

観光

観光資源を有効に活用するための対策は

新たな観光スポットをPR 弥陀ヶ原ウオークを開催



未来遺産に登録された布橋灌頂会

議員 日本ユネスコ協会の未来遺産に登録された布橋灌頂会と立山信仰を前面に出すべきではないか。観光客にわかりやすい歓迎の意を表す看板の設置を。

町長 観光の推進面において、室堂・黒部ダム・立山・劔岳に加え、弥陀ヶ原と大日平を新たな観光スポットとしてPRし、滞在型観光に繋がる魅力的な立山として広くアピールしていく。

商工観光課長 布橋灌頂会は、女性救済を目指す儀式の独自性や、地域が一体となり伝統文化の継承を進めている姿勢が評価され、未来遺産への登録につながった。立山博物館での特別展示や展望館での上映について県と協議する。

観光資源を効果的に紹介し、歓迎の意をこめた案内板の設置は大切な取り組みであり、検討する。「スポーツ」が大きな観光コンテンツになり得る。7月の夏山開きに併せた、弥陀ヶ原ウオークを開催する。

安心・安全

ゴミ・がれき焼却に対し、地元住民への説明を

南砺市のゴミ問題は謝罪がれきは収集したデータを公表

議員 南砺市のゴミの受入れについてマスコミ報道が先になり、住民への説明が遅れ地元住民に困惑が発生した事に対し、説明せよ。

東北地方のがれき処理に対する町の対応と、町民に情報提供を。

をおかけしたことをお詫びする。

副町長 二月十四日に「災害廃棄物の広域処理に関する研修会」が開催され、DVDやパンフレットなどによる「被災地の現状」「災害廃棄物の処理に伴う安全性の確保」などについて説明があった。具体的数値による災害ゴミの安全性・健康に及ぼす影響などを詳しく説明するものではなかった。

町長 地区住民の皆さんへの説明を順次進めている最中に新聞報道がなされたことは、きわめて遺憾だ。新施設を建設するまでの間、南砺リサイクルセンター管内からの一般廃棄物の処理を富山地区広域圏事務組合に一時的に委託したい旨、依頼を受けた。住民のみなさまに困惑とご迷惑

まだまだ何が正確な情報なのかわからない状況で、情報が錯綜しているの、富山地区広域圏クリーンセンターに現在搬入されている可燃ゴミの放射線

その他の質問

- ラムサール条約湿地登録を目指して、今後の取り組みは
- 地獄谷の代替歩道の整備は
- 立山アルペンヒルクライムの開催は
- 立山ブランドを発信するためのツアーを検討しては
- 県道横江地内など観光道路の整備に取り組みべきでは
- 世界遺産登録に向けた町の取り組みは
- 廃所による芦畹保育所の利用計画は

測定を行い、まずセシウムに関するデータ収集を行うことが必要。収集したデータは広報や町ホームページなどで公表する。震災ゴミに関するQ&Aを掲載する。



クリーンセンター

米田俊信議員 一般質問



観光

立山黒部アルペンルート 広域観光圏の取り組みは

観光資源の利活用 観光客誘致にスマートフォン

部貫光や関西電力、そして各宿泊施設の協力のもと、交通機関や宿泊料金の割引サービスを実施し、魅力の向上を図る。他に、観光客誘致につながるDVDの製作、急速に普及しているスマートフォンにも対応する。

施設管理

利用実態等を十分調査し、 町有遊休施設・土地等の処分を

保健センターは売却 ふれあいセンターあしくらは検討



売却が予定されている保健センター

議員 立山町保健センター・芦峠のふれあいセンターなど、対象施設の利用実態等を十分調査し、継続所有か売却か、個々に検討すべきではないか。

環境

富立大橋沿線の開発 への対応を

雨水貯水桝 設置を義務づける

議員 利田地区は道路、排水路の問題もあり、秩序ある開発となるよう、町として適切な指導、居住環境の整備を。

建設課長 富立大橋から立山インターチェンジに至る幹線道路は、商業施設や住宅が混在する市街地の形成を図る区域である。

総務課長 保健センターの取り扱い、平成23年度に土地・建物は不動産鑑定を行っており、売却を予定している。ふれあいセンターあしくらは維持管理に多額の費用がかかることから、売却や建物の取壊しを視野に入れて検討している。



利田地区内の用排水路

開発行為に対しては指導要綱に合致するか審査を実施し、雨水貯留桝の設置を義務づける。
道路は、交通安全面から、適切な交差点間隔、既存道路とのつながり等に留意する。

その他の質問

- 利田地区の通学路の整備を
- 世界に向けて立山をアピールし、ラムサール条約湿地登録を
- 太陽光発電、ペレットボイラー、小水力発電など、新エネルギー関連事業の推進を図るべきでは



町田信子議員 一般質問

健やかな発育

疲れを訴える子どもたちのために
どんな対策が考えられるか

望ましい生活習慣は、
学校を中心として指導

議員 子どもが、「疲れた」と口癖のように言うのをよく耳にする
とが大切だと思うが、
どう対応するのか。

が、ストレスの多い現代社会で心や体に疲れを感じている子どもたちも例外ではない。その意味や原因をしっかりと受け止めてあげるこ



▲町の将来を担う子どもたちには、健やかな発育が望まれる

とが子どもの「疲れ」に大きく影響している。立山町においても、望ましい生活習慣を身につけるよう学校を中心として指導を強化していく。

教育長 生活習慣の変化により、夜遅くまでテレビを見たりゲームをする。そのため朝食を遅く、朝食を食べる時間のない子が増えており、このこ

駅 の 美 化

無人駅的环境美化対策 待たれる駅トイレの改善

週1回巡回して清掃 整備は今の状況では厳しい



改善が待たれる榎町駅

議員 立山町の地鉄沿線は無人駅が多い。最も利用者の多いのは榎町駅である。最近、風紀を乱す事態も起こっており、近隣から苦情が寄せられている。
トイレについても、足腰の悪い人もおり、洋式トイレの設置が必要と思われるが、改善の考えはないか。

住民環境課長 立山町には富山地方鉄道の駅が13箇所あり、うち無

その他の質問

- 子ども医療費助成は中学校3年生まで拡充を
- 不育症治療の支援は小・中学校の「あいさつ」の徹底を
- 安全な観察方法で金環日食を楽しむための対応を
- 聴力及び認知症検査の必要性を見極める取り組みを

人駅は9箇所ある。無人駅的环境美化については、富山地方鉄道の職員が週一回巡回して清掃を行っている。地域住民のみなさんによる清掃活動等のご協力もいただいているところから、無人駅の環境美化は保たれていると考えている。
トイレの整備については、財政が厳しい今の状況では難しい。

平成24年3月定例会 請願・陳情結果

公的年金の改悪に反対する意見書提出を
求める請願
請願・陳情者
全日本年金者組合富山支部
支部長 森澤利之

採扱

全員賛成

〔趣旨〕現在、高齢の年金生活者にとつては、生活が大変厳しい状況である。制度改正によりさらに年金が減額されると、益々生活が苦しくなる。

就任のごあいさつ



闊達で円滑な議会に

立山町議会議長

坂井立朗

2月13日の臨時議会におきまして、議長
の要職に就くことにな
り、重責をかみしめて
おります。

「言うことは言い、
まとまる時はまとま
る、自由闊達で円滑な
議会運営」を目指した
いと思いを。
また、町の財政の

行方をしっかりと見
極め、議会としての
チェック機能を果た
し、「人と人との連帯
感こそが町の財産」と
いう思いで町民の皆様
方の負託に応えるよう
頑張りたいと思ってお
ります。皆様方のご協
力とご支援をお願いい
たします。

立山町議会委員会新役員

議長 坂井立朗 副議長 伊東幸一

総務教育常任委員会	正 亀山 彰	副 町田信子	伊東幸一	石川孝一	坂井立朗	窪田一誠
産業厚生常任委員会	正 佐藤康弘	副 後藤智文	桑原米蔵	村田 昭	米田俊信	高嶋清光
議会運営委員会	正 窪田一誠	副 桑原米蔵	佐藤康弘	町田信子	村田 昭	高嶋清光
立山自然保護特別委員会	正 米田俊信	副 桑原米蔵	坂井立朗	窪田一誠	村田 昭	高嶋清光
議会広報特別委員会	正 伊東幸一	副 亀山 彰	佐藤康弘	石川孝一	後藤智文	町田信子
企業誘致促進調査特別委員会	正 高嶋清光	副 米田俊信	議員全員			
監 査 委 員	米田俊信					
富山地区広域圏事務組合議会議員	伊東幸一	坂井立朗				
富山地域衛生組合議会議員	石川孝一	桑原米蔵				
中新川広域行政事務組合議会議員	亀山 彰	佐藤康弘	窪田一誠	高嶋清光		
滑川中新川地区広域情報事務組合議会議員	後藤智文	町田信子	村田 昭			
町都市計画審議会委員	村田 昭	高嶋清光				
民生委員推薦会委員	佐藤康弘	後藤智文				

正 委員長
副 副委員長



町のイメージ
キャラクター
雷鳥サンダーくん

あ と が き

「たてやま議会だより」第43号
発刊の運びとなりました。
この度、議会広報委員長の任命
を押し、責任ある立場として決意
を新たにしているとところです。
広報委員が誰の立場で編集して
いるかということを考え、ただ事
実を知らせるだけでなく、「町民
の皆さんが知りたいと思うこと」
「議会がぜひ知ってもらいたいと
思うこと」を十分に吟味して、分
かりやすく、さらに議会の動きも
町民の皆さんに理解していただ
けるような「議会だより」を目指
します。
不備な点が多々あるとは思いま
すが、一生懸命頑張ります。
議会や議会だよりについて皆様
のご意見やご批判などをお待ちし
ております。
(伊東記)

議会広報特別委員会

委員長 伊東幸一
副委員長 亀山 彰
委員 佐藤康弘
石川孝一
後藤智文
町田信子

議会や議会だよりに
ついてのみなさん
のご意見・ご感想は
立山町議会内
議会だより係

TEL 462-9984(直通)
TEL 463-1121(代)
FAX 464-1118

立山町議会事務局
〒930-0292 富山県中新川郡立山町前沢2440
ホームページ <http://www.town.tateyama.toyama.jp/> [議会会議録]もご覧ください。